

選挙出前授業

6月、二宮町内の一色小学校と二宮小学校で二宮町選挙管理委員会による選挙出前授業が実施されました。子どもたちは、本番と同じような環境で、模擬投票を行い、選挙を体験しました。18歳から与えられる選挙権は、国民が有する大切な権利です。今回の授業に込められた願いは次のとおりです。



①選挙の仕組みを学ぶ

子どもたちが選挙権を有したときに、自信をもって投票できるようになってほしい。

②社会の一員としての役割を学ぶ

よりよい社会をつかっていくためには、みんなで意見を出し合うことが大切です。ぜひ、社会の一員であることを自覚して、自分ごととし、参加すること、積極的に関わることを大事にしてほしい。



③意見を持つことの大切さを学ぶ

模擬投票を通じて、自分の一票が選挙結果に反映され、社会が動いていくことを実感したと思います。自分の意見を持ち、それをしっかり伝えることを大事にしてほしい。

②、③については、18歳を待つことなく、学校や地域など、身のまわりのコミュニティをよりよくするために、今からでもさっそく実践していけそうですね。

先日、脳科学者の茂木健一郎さんの講演会を聞く機会がありました。茂木さんも、「これからは、自ら判断し、選んでいく力が必要となる。」「海外から日本を見つめて、日本には良いところがたくさんあることに気付いてほしい。」とお話されていました。

海外には、投票しないと罰則を与えられる国もあります。日本は、国民一人一人の意思に委ねられていて、罰則はありません。一方で、投票率が年々低下していることは課題になっています。

よりよい社会の創り手を育成していく上で、貴重な体験となりました。今後も地域や行政等と連携した教育活動を大事にしていきたいです。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

